

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

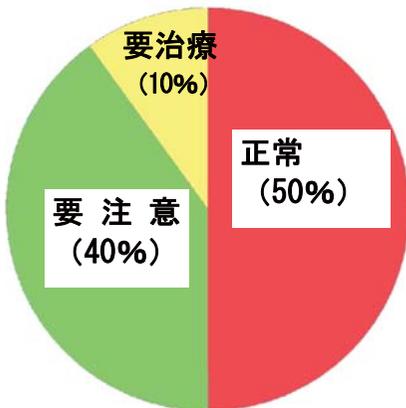
若者検診 対象年齢 拡大に 20歳から

非正規雇用の多い若者世代を対象にした健診制度が20歳から受診できるようになりました。共産党が2004年から議会に取り上げ続け、住民からの請願運動、医師会からの要望と結んで2013年度に実現。

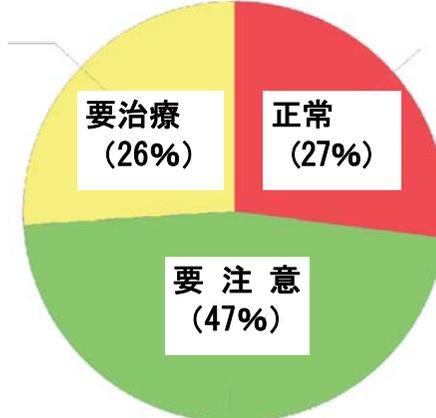
2013年4月から実現した若者健診。当時は、対象が35～39歳でした。共産党は切れ目なく健診が受けられるようにと、対象年齢を15歳からにすべきと引き下げを求め続けてきました。今回、ようやく20～39歳まで大幅に対象年齢が拡大されたので、本当に良かったと思います。若者の2人に1人が非正規労働という雇用破壊によって、高校や大学を卒業してから一度も健診を受けたことのない若者が増え、健康格差が問題になっていました。

2014年度「35歳からの健診」の結果

女性の健診結果



男性の健診結果



若者健診（男性）
7割が要治療・要注意

35～39歳の人口は約3万5千人いますが、健診を受けた方は765人（14年度）。受けた方のうち、「正常」は

男性はわずか27%、7割超が要注意・要治療という結果です（前のページの円グラフ参照）

女性も正常は50%。半数は要治療と要注意です。「異常」の方がこんなにいるとは驚きです。

若者健診を受けよう

区は健診制度の周知を

健診を受けた人は若者人口のわずか2%。ほとんどの若者が区の健診制度があることを知らないのではないかと思えます。

労働安全衛生法では、「常時使用する労働者」への年1回の健診を義務付けています

健診の中心は次のような内容です

- ①問診②理学的検査③血圧測定④尿検査（蛋白、糖、潜血）
④血液検査（赤血球、白血球、血色素、ヘマトクリット、血小板、血清鉄、中性脂肪、血糖値、HbA1c、GOT、HDL・LDLコレステロール、GPT、γGPT、クレアチニン、尿酸）

実施機関は？

区内207カ所の契約医療機関（区のホームページに掲載）

が、パートやアルバイトなどの非正規労働は健診の機会が保障されていません。また、深夜労働や長時間労働など若者を使い捨てにするブラックな働き方が蔓延しています。未来を担う若者の命と健康を守るためにも、健康格差をなくすためにも、年1回の健診は欠かせません。若者が健診を当たり前に受けるようにするためにも、まず制度の周知が必要です。

年1回の歯科検診を現実させよう

共産党は、昨年の決算委員会でも健診制度の周知、対象の拡大、健診に歯科検診を入

れるよう求めました。

歯科検診は、現在、40・45・50・55・60・65・70と5歳刻みで実施していますが、長い人生の中で7回しか受ける機会がありません。これでは健診が習慣になりません。

品川区の国保の基本健診・保健指導の実施計画でも、今後の課題のひとつである「重症化予防対策」に「歯科受診の勧奨」が位置付けられました。そこでは「糖尿病では歯

何でも相談会

6月8日（水）
午後6時半～

南恵子事務所

気軽ににご相談ください
連絡は（3790）1523

周病の頻度が高く、歯周病があると血糖コントロールが悪くなる傾向。心疾患がある方は、歯周病から体内に細菌が入ることで重症化する傾向がある」と述べています。

歯周病を防ぐためにも、毎年の健診でチェックし、指導を受けることが大切です。「歯科検診を20歳から毎年受けられる制度に充実を」の声を一緒に広げましょう。